



国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

湯沢河川国道事務所 トピックス



【お問い合わせ先】 湯沢河川国道事務所 〒012-0862 湯沢市関口字上寺沢 64 番地の 2 号

建設監督官 桜田 TEL 0183-73-5544

平成20年10月31日（金曜日）

「生保内川癒しの溪流市民の集い」が行われました

土砂災害の伝承と癒しのコンサートを開催

平成20年10月19日（日）仙北市民会館において、NPO 法人「癒しの溪流・里・まちネット」（理事長：菅原陽三）の主催で「生保内川癒しの溪流市民の集い」が行われました。

この集いは、湯沢河川国道事務所の砂防事業と密接に関わりがあり、今回は昭和35年8月、生保内川の土砂災害、水害によって「15人の命が失われたことを風化させてはならない。忘れてはならない。」という想いを仙北市民に伝承するとともに、地域の人々の心を癒す民謡や唄で楽しもうというコンセプトのもとで行われました。

集いの第1部として、これまでの癒やしの溪流づくりに関する報告をNPO法人より報告があり、その後、地域防災、災害共助をテーマとしてパネルディスカッションが行われ、かつて昭和35年8月に発生した生保内川の土砂災害、水害経験者4名のパネラーより、当時の状況をことこまかに話していただきました。

なかでも、この災害で母、兄、妹の3人を一瞬にして失った浅利さんの話は、本人の当時の記憶がよみがえり、感情があふれ、言葉にならない場面もあり、会場からも涙ぐむ方もおられました。

一転して第2部は、歌や音楽で「癒し」を感じようということから「癒やしコンサート」が行われました。はじめに地元の方々による秋田民謡、手踊りなどが披露され、その後、シンガーソングライターの福沢恵介さんから「生保内川癒しの溪流」のテーマソング「生保内川恋歌」やなつかしい童謡「しゃぼんだま」また、自作の楽曲数曲を歌っていただきました。

会場からは、「あの洪水のどぎだば大変だったな〜」「いいうだっこ（歌）だったな〜」（秋田弁）などの声が聞かれました。



☆ 菅原理事長のあいさつ ☆



☆ 活動報告の状況 ☆





☆ パネルディスカッションの様子 ☆



☆ 災害体験者の方々がロビーで
災害当時を思い出していました ☆



☆ 地元の方々の民謡と手踊り ☆



☆ シンガーソングライター福沢恵介さん ☆